

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 東京都品川区上大崎2丁目12番2号
ミズホビル7階
団 体 名 特定非営利活動法人 難民を助ける会
代表者職・氏名 理事長 堀江 良彰
電話番号 03-5423-4511

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

2022年2月8日付け県協第2137号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和3年度寄附金活用実績報告書

事業名	国際理解教育及び国内外の支援事業
寄附受入額	6,900,000円
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
1. 出前講座および講演	
2021年7月15日	みやき市立三根中学校にて大室が世界と日本のつながりやグローバル人材について出前講座 (佐賀県教育振興課グローバル人材育成講師派遣事業) 対象: 三根中学校3年生生徒40名+教員4名
2021年8月2日	佐賀県立白石高等学校にて大室が難民について出前講座 (佐賀県教育振興課グローバル人材育成講師派遣事業) 対象: 白石高校2年生120名のうち希望者80名
2021年8月6日	佐賀市立春日北小学校にて大室が平和学習の一環で、世界で起きている戦争について講演 対象: 全校児童約540名+教職員
2021年9月10日	武雄看護リハビリテーション学校にて大室が出前講座 対象: 看護学科2年生41名
2021年10月11日	武雄看護リハビリテーション学校にて大室が出前講座 対象: 看護学科2年生41名
2021年10月15日	佐賀市内のゲストハウス(佐賀インターナショナルゲストハウスHAGAKURE)にて北・栗村がアフリカの難民について、座談会を開催 対象: 一般 7名
2021年10月17日	佐賀市内の映画館(シアター・シエマ)にて北・栗村がスーダンの現状や顧みられない熱帯病と呼ばれるマイセトーマについて講演 対象: 一般 18名
2021年12月1日	佐賀医師会立看護専門学校にて大室が出前講座 対象: 専門課程3年生Aクラス35名
2021年12月4日	佐賀医師会立看護専門学校にて大室が出前講座 対象: 専門課程3年生Bクラス31名
2022年1月30日	佐賀市内の映画館(シアター・シエマ)にて古川事務局長がアフガニスタンやアフガニスタン難民の現状について講演 対象: 一般 28名
2. イベント出展による国際理解の場づくり	
2021年10月	令和3年度佐賀市市民活動プラザソフト事業「プラザほっとマンス」参加。団体の紹介動画を作成。 関連HP: https://sagaplazaact.wixsite.com/hot-month

- 2021年10月24日 市民活動プラザ1階廊下にてパネル展示実施（さが国際フェスタ）
- 2021年10月26日 令和3年度誘致CSOとの交流会・協働に関する意見交換会にて横銭が佐賀事務所の活動について講演
対象：誘致CSOや県内CSO等 約20名程度参加
- 2021年10月31日 小城公園（小城市）にてさが国際フェスタメインイベント（公益財団法人佐賀県国際交流協会主催）に出展
対象：ブースへの来場者、一般 約70名
- 2021年11月21日 サガシル（佐賀県内大学企業・団体交流会）にブース出展
対象：ブースへの来場者、イベント参加の大学生約20名
- 2022年1月8日 令和3年度 佐賀市市民活動プラザ ソフト事業「プラザほっとマンス」会場展示に参加
- 2022年2月15日 佐賀医師会立看護専門学校 課外活動の一環で、県庁県民ホールにて、チャリティーチョコレートの販売と啓発ブースの展示を企画。
当会スタッフのみで実施した。

3. 支援事業

<令和3年豪雨被災者支援>

- ・被災直後：緊急に必要な支援物資の提供

NPO法人 みつわ（佐賀県武雄市）に、2021年8月17日、介護食・水・レトルト食品等を提供した。

NPO法人 菜菜（佐賀県武雄市）に、2021年8月18日、飲料・非接触体温計等を提供した。また、同年8月23日、折り畳みテーブル（今後の浸水の危機に備えて、アウトドア用の移動できるもの）等を追加供与した。

- ・中長期的支援：什器備品の提供等の支援活動を実施

令和3年豪雨で被災した佐賀県武雄市、大町町の障がい福祉施設4ヵ所が早期に運営を再開できるよう、什器備品の提供等を実施。そのうちのひとつである、障がい者就労支援施設のNPO法人 菜菜では、令和元年佐賀豪雨での浸水被害に続き2回の浸水で作業所内の床が歪み、戸が開けにくくなったり、たわんだりする被害を受けたため、作業所内の床・壁等の張り替え工事等を支援した。

<ウクライナ避難者の受入れのためのネットワークへの参画>

2022年3月に発足した Saga Ukeire Network に発足当時より参画。定例会議に参加し、現地での状況などを情報共有。

事業実施の成果・効果（見込み）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

1. 出前講座および講演

800名を超える一般市民・児童・生徒が、国際社会の諸課題（紛争、難民問題、地雷問題、感染症対策、水・衛生問題、災害被災者支援等）について、現状と課題を理解し考える機会を提供できた。グローバル人材としての成長を目指す動機付けとなったことを期待する。

2. イベント出展による国際理解の場づくり

100名を超える参加者に参加いただき、異文化の存在と理解、国際感覚の醸成による多文化共生社会の担い手の育成に寄与できた。

3. 支援事業

<令和3年豪雨被災者支援>

障がい者就労支援施設の活動環境を迅速に改善することができた。早期に施設建物が復旧したことで、利用者が普段の活動を継続でき、安心して農作業などに取り組むことができています。

<ウクライナ避難者の受入れのためのネットワークへの参画>

ウクライナ国外に退避せざるを得ない人々が、佐賀県を拠点に安心して暮らせるよう、佐賀県庁をはじめ行政機関や多様なCSOと協力し、体制を整備した。引き続き、避難者と県民とが共生していく社会の実現を目指す。

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		国際理解教育及び国内外の支援事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	6,900,000	第4回交付：6,900,000
		収入 計	6,900,000
支 出	謝金	0	
	旅費	72,557	国際理解教育実施者：佐賀への旅費
	印刷製本費	32,650	
	消耗品費	6,774	
	使用料・賃借料	1,454,220	事務所賃料・イベント時会場使用料
	支援活動など	3,058,600	令和3年豪雨被災者支援
	人件費	889,185	国際理解教育実施・佐賀受け入れネットワークへの参画等
	返礼品等の調達に係る費用	956,030	
	返礼品等の送付に係る費用	194,554	
	広報に係る費用	225,230	
	事務に係る費用	10,200	
		支出 計	6,900,000

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。